

## 第一収蔵庫の収蔵標本（植物）の概要

天 野 誠

千葉県立中央博物館の第一収蔵庫は、維管束植物（種子植物とシダ類）と藻類の標本が納められている。このうち、維管束植物は、現在収蔵点数が38万点を超えた。現在も毎日着実に整理を進めている。日本国内では上位10位までに入る点数である。開館30周年を区切りとして、コレクションの概要を記録として残しておきたい。

コレクションは、日本を中心としているが、館員の海外調査の成果および交換標本として取得した国外標本（9,635点）も含まれる。その内訳は、ロシア（2,732点）、中国・台湾（2,024点）、タイ（1,791点）、ネパール（1,294点）、マレーシア（467点）、ブータン（71点）などである。特に、中央シベリア・ロシア極東地域と中国の山東省の標本は特に貴重である。残念ながら、国外標本については未整理のものが多い。

国内標本は、千葉県産が230,891点で全体の約70%を占める。県外で収蔵点数の上位を占めるのは、愛知（25,472点）、岐阜（13,331点）、長野（9,773点）、北海道（9,105点）、三重（6,900点）である。量の多寡はあるが、全都道府県の標本を収蔵している。

これから記述する数値は、おおよその数である。研究者によって、分類群の分け方やランクには違いがある。今回は当館の学名データベースを用いて計数した。千葉県産の標本では、シダ類では、214種2亜種20変種11品種64雑種が収蔵されている。種子植物では、2,374種7亜種211変種187品種104雑種が収蔵されている。

充足率（ここでは記録種数に占める収蔵種数を表す）は、千葉県においては非常に高い。シダ類は、301分類群が収蔵されている。『千葉県の自然誌 別巻4 千葉県植物誌』（以下「千葉植物誌」と表記）のデータに照らし合わせると、充足率はほぼ100%である。シダ類の帰化・逸出種は、7分類群記録されている。今後は、北上種の収集が望まれる。種子植物は2,883分類群が収蔵されており、充足率は約9割5分である。残りの多くは、一時帰化植物や品種、雑種であり、計画的に収集することは困難である。帰化・逸出種は、種子植物で803分類群、記録されている。今後も品種と帰化種を中心に増加は見込めるが、この点については、県内のアマチュアに頼る所が大きい。これまで「千葉植物誌」に記載のない204分類群が新たに記録された。「千葉植物誌」出版以来、新たに発見された自生種は、12種に留まっており、全県レベルでの調査はほぼ終了したと考えら

れる。今後の博物館の標本収集方針としては、県下の全市町村の植物誌ができるように、地域的な情報の偏りを解消することが重要である。

日本産の標本は、シダ類では、540種1亜種68変種11品種64雑種が収蔵されている。種子植物では、4,761種46亜種742変種323品種296雑種が収蔵されている。

種に限って、日本に範囲を広げて充足率を計算すると、シダ類では、540種が収蔵されており、y-List（植物和名一学名インデックス）と照らし合わせると、充足率は約8割である。残りほぼすべてが、絶滅種、絶滅危惧種、希少種、雑種であり、今後の充足率の伸びは見込めない。同様に種子植物では、4,618種が収蔵されており、充足率は約6割5分である。収蔵されていない植物の多くは、絶滅種、絶滅危惧種、希少種、雑種であり、今後収蔵される可能性は低い。未整理標本の中に希少種が含まれているので、その整理後は少し充足率が上がると考えられる。今後は、新記載種の掘り起こし及び地方研究機関との標本交換で充実を期したい。

収蔵されている主な個人コレクションは、収納順に若名東一コレクション（ほぼ整理済み：14,390点、千葉県および群馬県）、與世里盛春コレクション（ほぼ整理済み：3,194点、昭和初期の成東周辺の標本）、井波一雄コレクション（整理済み：51,011点、愛知・岐阜・三重・長野各県他）、稲垣貫一コレクション（整理済み：9,849点、北海道中央部、愛知県他）、行方沼東コレクション（ほぼ整理済み：9,198点、ただしデータベース本体と合していない：シダ）、浅野貞夫コレクション（整理済み：14,987点、安房地方・タケ類）、西田誠研究室コレクション（国内標本はほぼ整理済み：2,138点、シダ、国外は未整理）などがある。特殊なコレクションとしては、石川茂雄教授の種子と果実のコレクションがある。

種レベルのタイプ標本に関しては、ホロタイプ1点（*Dendrobium shiraishii* Yukawa et Nishida）、アイソタイプ2点（ユキミバナ、イスミスズカケ）その他のタイプ・アイテムが数十点収蔵されている。

標本の収集と整理・保存事業は、多くを外部の研究者と県内外のアマチュア、標本整理ボランティアに頼っている。ここに感謝の意を示したい。

（植物学研究科）